



11月も半ばを過ぎました。季節は秋から冬へと移っているようです。12月2日には生活発表会を計画しており、各クラスともこれまでの楽しい遊びや体験などを様々な表現につなげていくために、担任は子ども達の思いや考え、得意なこと、できるようになったこと、やってみたいことなどを引き出し、発表という形にしているところでしょう。本園の生活発表会は、出来栄の素晴らしさや完成されたものを目指すのではなく、その過程を大切にしています。クラスの友達や先生と一つのことと一緒に取り組む中で、楽しさや意欲、自信、満足感、友達とのつながり・・・などが感じられるように、子ども達の成長につながるようにと願って取り組んでいます。これまで楽しく充実した活動を繰り返し広げてきた子ども達、きっと素敵な発表会になることと思います。とても楽しみです。

全園児で一畑薬師石段登りに挑戦！

11月8日(火)は、平田幼稚園恒例の『全園児による一畑薬師石段登り』を行いました。幼稚園バスで登り口まで到着。坂道や階段がほとんどなので、水筒などの荷物は職員が上へもって上がり、子ども達は身軽な格好で元気よく出発しました。もう3回目なので足取りも軽くどんどん登っていく年長児。今、オバケのイメージで遊んでいるので、ここでもオバケマントを着て楽しみながら登る年中児。初めての石段登りで、ドングリを見つけたり休憩もしながら自分達のペースで登る年少児。それぞれの学年で登り方はいろいろでしたが、到着した時はみんなとびっきりの笑顔でした。この日はお薬師様のお祭りの日で、参拝客が多かったですが、ご住職様がお忙しい時間を縫って子ども達に「目のお薬師様の由来」を話してくださいました。その後、本堂に向かって手を合わせたり、本堂の周りを歩いたり、見晴らしの良い景色を眺めたりしました。最後は、お楽しみの「一畑薬師饅頭」を食べて帰ってきました。



年長児が東太鼓の体験をしました

10月の誕生会のお楽しみに、「東太鼓」のお二人に来ていただき、太鼓の音を聞いたり、実際に少し叩かせていただいたりしました。「もっと太鼓を叩きたかったなあ」「太鼓、カッコいいよね」という年長児の気持ちが高まり、11月7日(月)に東コミュニティセンターで「東太鼓」の体験をさせていただくことができました。当日、東コミュニティセンターの研修室に入ると、年長児一人一つの太鼓が準備してあり、奥には大太鼓があって、みんな圧倒されたようでした。挨拶をして、まずは『かまえ』のポーズを教えてもらいました。左足とおへそを太鼓の真ん中に向け、「いち」で右足を横へ開き、「に」で右足を斜め後ろに引き、「さん」でバチを持った両手をまっすぐ上にあげます。これがなかなか難しく、体がグラグラ揺れてしまいます。それでも何回か繰り返すうちに体の重心をどこにもってきたらよいか感覚的につかんできたようでした。最初は好きなように叩いていいということで、みんな大喜びで「ドンドン」「ドドドンドン」など思い思いに太鼓を叩いて楽しみました。次は、同じリズムをみんなと一緒に叩くことをしました。「ドン***」「ドン * ドン *」「ドンドンドンドン」「ドドドドン! ヤア」というリズムは難しくなかなかそろいませんでしたが、みんな一生懸命リズムを覚えて太鼓を叩き、最後の「ヤア」というポーズはあわせることができました。大太鼓も一人ずつ叩かせていただきました。終わった時の感想は「太鼓の音がおなかに響いた」「最初は簡単にできるかと思ったけど難しかった」など貴重な和太鼓の体験をすることができました。



年長児との園外活動を共にして

飛行場見学、東太鼓の体験など、このところ年長児の園外活動と一緒にいく機会を多くもつことができました。その中でいくつか感じたことを書いてみたいと思います。

飛行場見学の時のこと。バスを降りて、飛行場のデッキや公園へ行くときに歩いていると、お仕事の人や旅行客とすれ違えます。その度に子ども達は「おはようございます」「こんにちは」と挨拶をしました。旅行客の方は最初は「えっ？」というびっくりしたような表情をされましたが、ほとんどの方が挨拶を返してくださいました。そして、その顔は笑顔でした。見知らぬ園児からの挨拶に笑顔で答えてくださり私たちも嬉しかったです。挨拶は人を笑顔にする力があるんだと、改めて感じました。

『東太鼓』体験の時のこと。指導をしてくださったお二人の方が、「平田幼稚園の子ども達は、話をよく聞けますね」「私たちの言ったことを一生懸命聞いて、一生懸命やろうとしていましたね」と褒めてくださいました。東太鼓は子ども達にとって魅力あるものだったので、そういったこともあるでしょうが、普段から「話をする人の方を見て聞きましょう」「どんな話をされるのか興味をもって聞きましょう」「最後まで話を聞きましょう」といったことを伝えています。そうした取り組みがいろいろな場面でできつつあることをとても嬉しく感じました。

この二つの出来事から、年長児だけでなくどのクラスの子どもも、『遊ぶ時には本気でめいっぱい楽しみ、挨拶や話を聞くなどの良い態度も身につくにつとめ、メリハリのきいた』姿に育っている、ということを実感しています。このどちらも小学校以降の生活にとっても必要なことです。これからも、人格形成の基礎となる必要な力が身につくようにしていきたいと思います

保育公開・PTA 研修を行いました

11月4日（金）には保育公開にお出かけいただきありがとうございました。各クラスで今、楽しんでいる遊びをご覧いただきました。年少児のかわいいお祭りごっこ。おうちの方にお客さんになってもらって「いらっしゃいませー」の音がいつもより元気よく聞こえました。年中児は、マントを着てオバケに変身し、釣りをしたり、オバケハウスに入ったりして遊びました。おうちの人に「こうやって釣るんだよ」「オバケハウスは暗いよ」と遊びを説明していました。年長児は、飛行機を工夫して作ったり、遠くまで飛ばそうとしたりして夢中になって取り組んでいました。よく飛ぶように試行錯誤したり、飛ばし方を考えたり、友達と声を掛け合ったりしていましたね。

PTA 研修では「ヨガ」のインストラクターに来ていただき、ヨガ体験をしました。体の動かし方や呼吸の仕方などを教えていただき、ゆっくりとそれぞれできる範囲で体を動かしました。その中で「自分が体が硬いとか、集中できないとか、ジャッジはしません」「自分が心地よいと思う動きや呼吸をしましょう」など伝えていただき、体験した一人として『体と心をゆるめ、心地よい時間が過ごせた』と感じました。忙しい日々を過ごす今の時代、こんな時間も時にはいいなと思いました。

後日、保護者の皆様から感想をいただきました。保育公開について、「最近、『タコ焼き』『おみこし』『どんぐり』が家でも言葉で何度も出ていて、幼稚園で楽しんでいるんだろうと、想像していました。子ども達の興味を上手に活動に取り入れてくださり、本当に楽しそうで、こちらでも嬉しくなりました。」「魚釣りのさおの作り方を教えてくれたり、釣れるまで根気よく頑張ったり、オバケの部屋を嬉しそうに案内したりしてくれました。最後、たくさん人のいる中で、手をあげて感想を発表でき、勇気を出した姿を見せてくれてとても嬉しかったです。」「広々としたスペースに飛行機作りのたくさんの材料が用意してあり、子ども達がイメージしたものを自由に表現できる環境でのびのびと遊ぶ姿が印象的でした。」「手をあげて発言したり、友達の意見に耳を傾けて静かに聞いたり、小学校に向けての姿が見られ感心しました。」「ただ楽しいだけでなく、なぜ上手いかわからないのか、より飛ばすためには何が必要かということをも自分達で考えさせ、友達と協力し、試行錯誤する姿がとても良いことだと思いました。」などなど、たくさんの素敵な感想をいただきました。子どもの成長の姿に加え、幼稚園で大切にしていることを保護者の方が保育から理解してくださっていることがわかり、とても嬉しかったです。



「いらっしゃいませー」(年少児)

「おばけの魚釣りだよ」(年中児)

「ドクターヘリはビューンで飛ぶよ」(年長児)